

第2回にしんわくわくミライ会議 成果概要

第6次日進市総合計画を策定するにあたり、市民の皆様からのご意見を頂戴し、政策に反映させることを目的に【第2回にしんわくわくミライ会議】が開催されました。

この会議で提案のあった企画については、今後策定市民ワーキンググループで具体的に検討をしていきます。

1.当日のプログラム

		第2回のおしながき 令和元年6月30日(日) 10:00~17:00(予定) 中央福祉センター 2階 多機能室
10:00~	1. 開会あいさつ・プログラム説明	
10:10~	2. ミニレクチャー「アイデア(「わくわくまちづくり活動提案企画シート」)を持ち寄り、発散させ、収束させるコツと心得」	
10:20~	3. アイスブレイク(ときほぐし)	
10:35~	4. 個人~全体:まちづくり活動提案をPRし合って、新しいチームをつくらう! ①PRプラカードの作成~②チームづくり	
11:20~	5. チーム作業①:それぞれ持ち寄った「わくわくまちづくり活動提案」を共有して、チームとしての企画提案仮タイトルを考えよう! ①各自のわくわくまちづくり活動提案の発表~②共通項の洗い出し~③チームの企画提案の仮タイトルを考える。	
12:00~	昼食・休憩(45分)	
12:45~	★「にしんわくわくミライ会議」番外編: 「都市マスタープラン策定にあたってのアンケート」	
13:15~	6. 午後のガイダンス ①チームの活動提案の仮タイトル発表!~②午後のワークの説明~ ③小林先生コメント	
13:35~	7. チーム作業②:チーム版の「わくわくまちづくり活動提案企画シート」を作成しよう! ①アイデアカード作成~②ワークシート作成~③イチオシ絞り込み	
	この間、適宜休憩	
14:35~	8. チーム作業③:「活動提案のはじめの一步を考え、ポスター(チラシ)に仕立て上げよう!」	
15:25~	9. 成果発表会	
15:45~	10. 相互講評会&チームの振り返りタイム	
16:10~	11. 実現に向けた自己宣言「やる気の葉っぱが萌えるキンモクセイ」	
16:40~	12. まとめの講評	
16:50~	13. 開会あいさつ・集合写真撮影・事務連絡 → 有志で簡単な茶話会(予定)	
■よりよい話し合いのために~3つの約束		
① 最も大切なのは、「傾聴」。人の話をしっかり聞きましょう。 ② 話は、「手短か」「簡潔」に。できるだけ「記録」を残しましょう。 ③ 人の意見を「否定しない」こと。「要求型」ではなく、「提案型」で。		

2.会場の風景



3.各テーマの提案企画シート

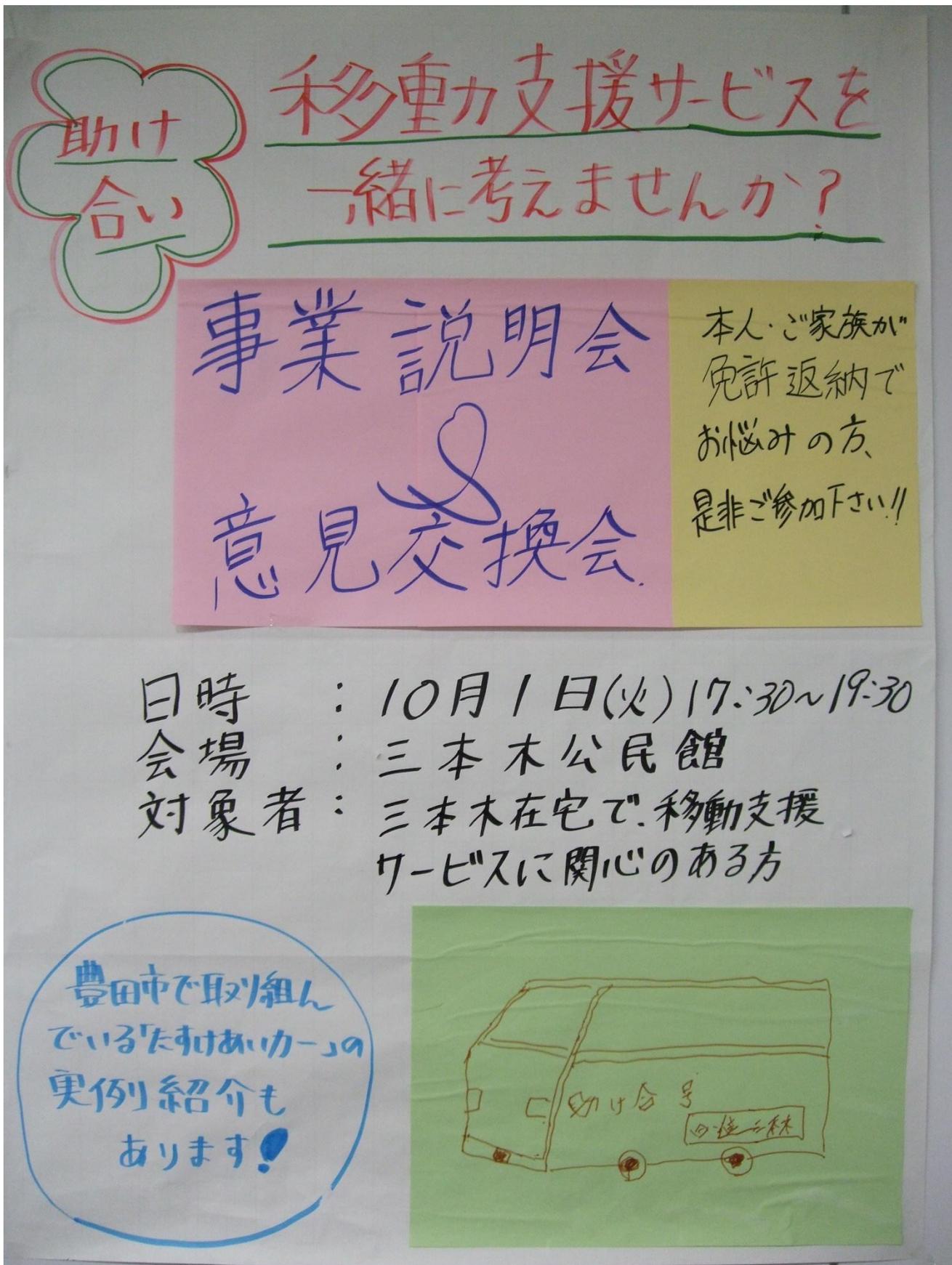
わくわくミライ会議まとめ【チーム1】

1. わくわくまちづくり活動提案企画シート

1 テーマ テーマ1~5のうちどれかに該当するかを記入	テーマ4：誰もが独りぼっちにならないつながりのあるまちにするためには
2 もとになったイチャオシ提案のタイトル	
3 プロジェクト名 内容が伝わり共感を得やすい名称	お出かけしませんカー～あなたの元気おたすけします～
4 目的・ねらい 何のためにやるのか？ 解決したい課題や10年後までに得たい成果は？	<ul style="list-style-type: none"> ●くるりんバスの補完 ●車が運転できなくなった人（高齢者等）のフォロー ●外出支援 買い物支援
5 取り組み内容 いつ？ どこで？ なにを？ どのように？ ※箇条書きで簡潔に	<ul style="list-style-type: none"> ●まずは、「マイカーを相乗り」⇒ゆくゆくは、「ワゴン車（購入 or レンタル）」⇒移動支援+地域住民同士のつながりが目的 【サービスのイメージ】 ①日常サービス（2・3回/週）：「スーパーへの送迎」、「サロンやつどいの場への送迎」、「病院送迎」など ②イベント的サービス：「バス内サロン」（例えば、豊鉄のおでん車のような感じ） 【予約、登録サポーター（仕組み）】 <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[援助会員] --> B[電話・ネットでマッチング (Line でマッチングもあり)] B --> C[利用会員] </pre> </div> <p style="text-align: center;">（お互い気を使わないように、「有償」、ワンコイン500円??）</p>
6 実施体制 だれが？ だれと？ 協働相手や役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ●市全域で行うのか小さな単位で行うのか？ ⇒まずは、区や自治会、町など小さな地域単位のボランティアでモデル的に実施して、NPO等を組織化して全市的に展開していくようなイメージ。 ●補償⇒保険加入は大事 ●資金⇒「スポンサー（信金、スーパー、ドラッグ、クリニック）」、「助成、補助」、「自治会区費」、「社協の助成」
7 はじめの一步で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●まずは、高齢化している地区でモデル的にスタート ●助け合い移動支援サービスを一緒に考えませんか？（説明会と意見交換会） ●「調査隊」、「会づくりの作戦会議」、「勉強会」 （移動に困っている人はいるの？ どんな移動支援、ニーズがあるの？） ●①仲間集め（援助してくれそうな人）⇒②発起人会 ●民生委員さんを通じてチラシ配布 ●町や自治会等の小地域で仲間集め
チームメンバーの名前・ニックネーム	窪田健一 田中八喜 神原光博 松岡裕子 幸村朋子 山口和子

2. はじめのPRポスター・チラシ

プロジェクト名	お出かけしませんカー～あなたの元気おたすけします～
---------	---------------------------



<p>いいね! の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●おでかけのきっかけになる。(いとちゃん) ●外出の足はこれからの日進で困る人が多くなるとおもうので。(前田きくの) ●友だちづくり。(ジョージ) ●移動支援サービス。高齢者としてたすかります。(山田和子) ●誰もが独りぼっちにならない 誰もが通る道だから。(まいこさん) ●是非、「たすけあい」が実現できますように。(ひろこ) ●移動支援サービス。(伊藤三郎) ●豊田市の取り組みを知りたい。(久井) ●支えたい(エリ) ●しませんか?と、しませんカーのもじりが入りやすい。(かんべ) ●実行しやすいと思ったからです。事例でより分かりやすい。(わかな) ●お買い物サポートすてきです。(中根美穂) ●車がないと移動できなくなるという切実な課題にふれて、具体的な実現可能性のある提案であった。(うっちー) ●日進市のバックアップが必要(鈴木康子) ●実際に行われている事例を紹介するのがいい。(ひぐちゃん) ●誰もが課題に感じていて、是非、実現に向けて取り組みたいと共感した。(よっちゃん) ●移動方法を考えることが必要。(市川) ●くるりんバスが不便と聞かれることから、このような移動支援サービスが展開されることで、まちの活性化につながると思ったため。(ひーくん) ●くるりんバスの補完をできるのがありがたい。免許返納に役立ちそう。(はるぞう) ●実例があるので、実現に期待できる。(柴田基) ●実際に実現できると便利ですね。(よしすけママ) ●独りぼっちにならないように。(ひろこ) ●これからの時代に必要だと思いました。(くろちゃん)
---------------------	--

わくわくミライ会議まとめ【チーム2】

1. わくわくまちづくり活動提案企画シート

<p>1 テーマ テーマ1~5のうちどれかに該当するかを記入</p>	<p>テーマ1：子育てをするなら日進といわれるまちにするためには テーマ5：女性がイキイキと輝き活躍できるまちにするには</p>
<p>2 もとになったイチオシ提案のタイトル</p>	<p>イクメン元年</p>
<p>3 プロジェクト名 内容が伝わり共感を得やすい名称</p>	<p>イクメン元年</p>
<p>4 目的・ねらい 何のためにやるのか？ 解決したい課題や10年後までに得たい成果は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パパの積極的な育児参加 ●家庭円満 ●女性の一人の時間を作る 外に出る機会を作る
<p>5 取り組み内容 いつ？ どこで？ なにを？ どのように？ ※箇条書きで簡潔に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パパ→飲み会 ●金、土→夜7時開始 ●どのように→進行役がいる ●少人数（20人程度）、セミナー（会場は居酒屋） ●どのように人を集める？⇒「妻から」、「女性から」広めてほしい（情報発信）行っていいよという答えがほしい ●どう、女性、妻に広める？⇒「保健センター」、「学校」、「日進公式のメール」、「広報」で広める ●ポスター ●継続するには…⇒しょうがないなあと思う（例えば、「3部制：3回で1イベント」、「PDCAサイクル」） ●飲み券を付ける ●御意見番+女性→男性のお母さん世代 ●進行役→加藤たけしさん ●最後に、女性、妻から評価をもらう（女性1回⇒男性3回⇒女性1回）
<p>6 実施体制 だれが？ だれと？ 協働相手や役割分担</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●プレパパ、現役パパ 世代を超えて

<p>7 はじめの一步で取り組むこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●女性やママの意見（男性にやってほしい事）の吸い上げ ●女性はアンケートだけでも（開催者募集をアンケートに付ける） 「支援施設、小・中・高協力」、「支援センター⇒小さい頃からやる」 ●妻のグチ～家事編～ ●妻のグチ～育児編～ <p style="text-align: right;">} アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市の施設にチラシ、ポスターを置いてもらう ●テーマ：イクメンの育て方、夫のグチ吐きませんか（ストレートに伝える） ●誰がやる？⇒子育てサークルの人？（保健センターきっかけ？）
<p>チームメンバーの名前・ニックネーム</p>	<p>かんべちゃん わかな よしすけママ ひぐちゃん ひーくん はるぞう</p>

2. はじめのPRポスター・チラシ

<p>プロジェクト名</p>	<p>イクメン元年</p>
----------------	---------------

イブメンへの道も 飲み会から


 ウメン元年

(日時)

第1回 令和元年3月31日(土)

第2回 令和元年4月21日(土)

第3回 令和元年10月12日(土)

毎 18:00~開演
(3回1set)

(場所) 人権屋台(旧店)

(参加費) お一人様 7000円(税込)

(対象者)

1999.7.27~1910

女性

皆で来てね!!

女性・ママからのアンケートをもとに、各回テーマを設定して
お酒の文化や、心と心を通わせたいことを知ってもらおう!
学びに発見を家庭で実践! → **目指せ家庭円満♥**






かんべちゃん
わかば

よしすけママ
ひぐちゃん

ひーくん
はるぞう

いい ね!の 理由	<ul style="list-style-type: none"> ●イクメンへの道も飲み屋から。(伊藤三郎) ●飲み会は気軽に参加しやすいと思った。(柴田基) ●ポスターのデザインがステキ(ヒロ) ●飲食で子育て 無理なく続きそう。(神原光博) ●イクメン頑張れ! 応援したくなる。(ヒロ) ●飲み会で、いつもは言えないような事を話ができるところに着目したところがよかった。 (うっちー) ●新しい試みで楽しそう。(よっちゃん) ●イクメン元年 少子化対策の一環として必要だから。(春) ●アイデアが新鮮で面白い。(窪田) ●ビールがよい。(市川) ●行きたいと思う。ポスターに目が釘付け。(くろちゃん) ●イクメンガンバレー! 飲み会で肩の力をぬいてね。(中根) ●働く女性が多くなっているの、子育て(未来を支える子ども)を皆で育てる必要がある。 (前田きくの) ●チラシのユニークさは一等賞。(田中八チャン)
-----------------	--

わくわくミライ会議まとめ【チーム3】

1. わくわくまちづくり活動提案企画シート

1 テーマ テーマ1~5のうちどれかに該当するかを記入	テーマ3：次世代も住みたくなる上質な住宅都市であり続けるためには
2 もとになったイチオシ提案のタイトル	誰もが選べる、暮らし続けられるまちプロジェクト
3 プロジェクト名 内容が伝わり共感を得やすい名称	S=支え合い N=にっしん S=市民（シニア～子ども） } プロジェクト
4 目的・ねらい 何のためにやるのか？ 解決したい課題や10年後までに得たい成果は？	みんなが住みたいと思うまちとなるため、“支え合い”の文化を育む
5 取り組み内容 いつ？ どこで？ なにを？ どのように？ ※箇条書きで簡潔に	「にっしん支え合いの会（仮）」の設立 ●市内各学区などの小地域単位 ●「子どもの安全」、「高齢者の生きがいづくり」、「健康づくり」、「農業支援」 ●報酬は地域通貨 or 参加賞（物品） ●昔ながらの良さを大切にしていく <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">やらされ感NG</div>
6 実施体制 だれが？ だれと？ 協働相手や役割分担	●各学区有志で組織化（先進事例：香久山、五色園） ●区長、民生委員さんを支える役割 ●地域課題に迅速かつ柔軟に対応
7 はじめの一歩で取り組むこと	●支え合いのしくみづくり講座 ①課題の共有 ②先進事例の学習（視察 or ゲスト） ③モデル地区でのシミュレーション
チームメンバーの名前・ニックネーム	うっちー ちーちゃん マロン よしくん えーちゃん 春 さぶちゃん

2. はじめのPRポスター・チラシ

プロジェクト名	SNSプロジェクト
---------	-----------

特報!!! 支え合いのしくみづくり講座 **開催!!!**

・みんなが暮らし続けられるため、
少いずつ知恵、経験、時間を出合い、
支え合いのしくみを構築しませんか?

健康づくり

<開催日&講座内容>

令和2年5月24日(日) 13:30~16:00
第1回 地域のお困りごと どうしてですか?

農業支援 **子どもの安全**

令和2年6月21日(日) 9:00~17:00
第2回 先進事例から学びましょう!

高齢者の生きがい

令和2年7月26日(日) 13:30~16:30
第3回 お試して会を立ち上げよう!

参加賞あり!!!

<主催> S 支え合い
N 日進
S 市民

<共催> 日進市
日進市議会
四日市大学

<開催場所> 日進市
日進市交流館

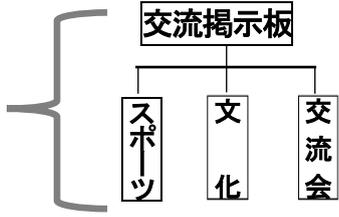
<講師陣> 日進市議会
四日市大学

プロジェクト

<p>いいね! の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●支え合うことをまちぐるみで、是非。(いとちゃん) ●健康づくり、ボケ防止。(えーちゃん) ●市民生活に密着した問題。(ジョージ) ●交流の場を多くする事で、住みやすいまちになっていくと思う。(前田きくの) ●支え合う社会。(えーちゃん) ●市全域ではなく、小さな単位での住民同士の支え合いが大切だと思います。(幸村朋子) ●地域通貨がオモシロイです。(中根) ●地域通貨。(エリ) ●安心して、暮らしていくため。(ちーちゃん) ●高齢者になったら、支え合いが必要と思う。(久井) ●支え合うことが良い。(神原光博) ●SNSプロジェクト 世知辛い世の中では支え合いは必要で、仕組み作りが良い。(春) ●タイトルがばっちり。(伊藤三郎) ●支え合いの仕組みが地域で違うかもしれないので、当人に考えさせる点が良い。(柴田基) ●思い切った提案。(まろん) ●実現性があり、支え合いは必要と感じる。(よっちゃん) ●住みよい住宅都市(えーちゃん)
---------------------	---

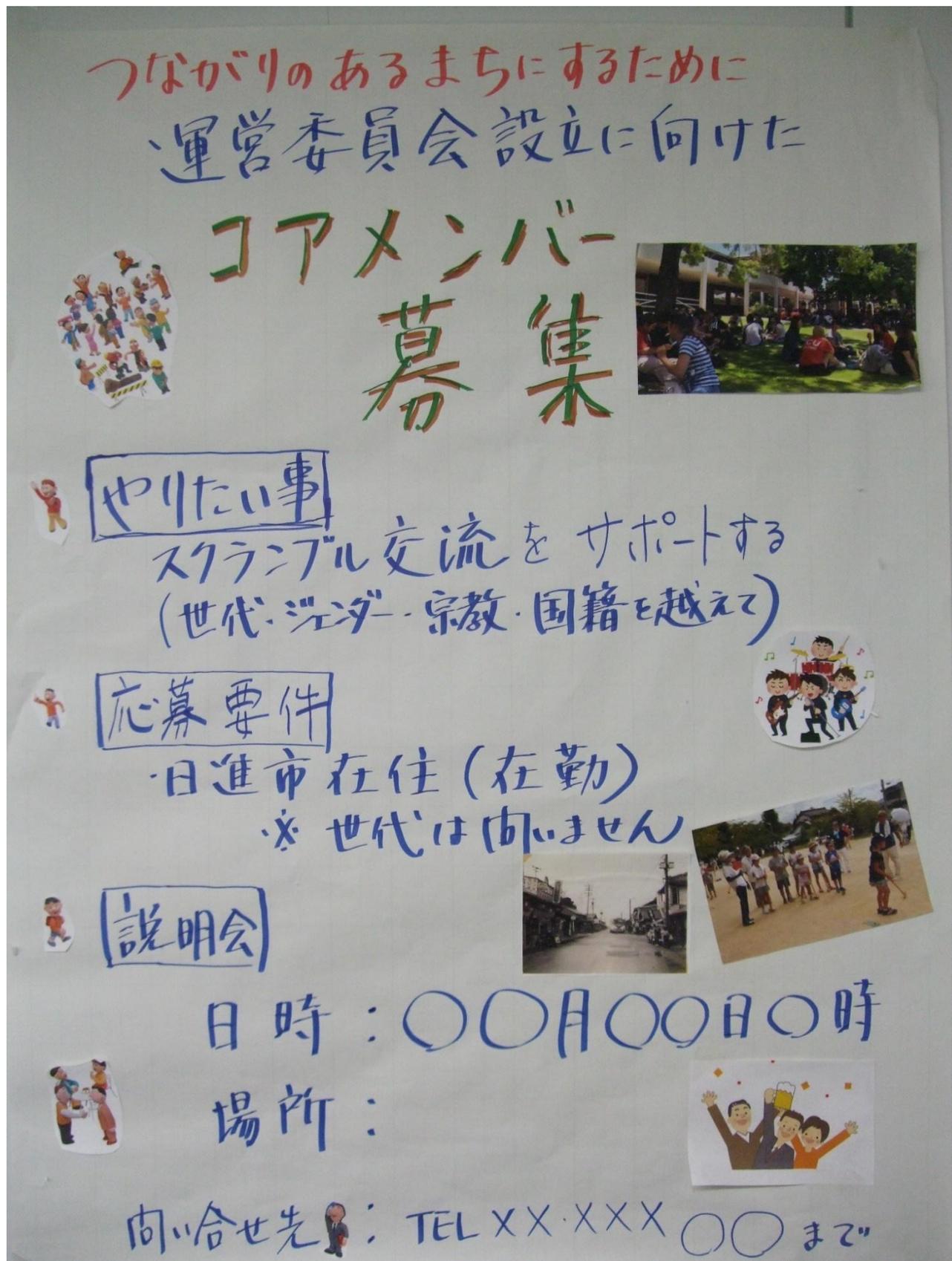
わくわくミライ会議まとめ【チーム4】

1. わくわくまちづくり活動提案企画シート

1 テーマ テーマ1~5のうちどれかに該当するかを記入	つながりのあるまちにするために
2 もとになったイチョシ提案のタイトル	世代を超えて
3 プロジェクト名 内容が伝わり共感を得やすい名称	スクランブル交流運営委員会
4 目的・ねらい 何のためにやるのか？ 解決したい課題や10年後までに得たい成果は？	スクランブル交流 交流のしくみ作り (スクランブル:「世代間」、「同世代」、「男女」、「国籍」)
5 取り組み内容 いつ？ どこで？ なにを？ どのように？ ※箇条書きで簡潔に	<ul style="list-style-type: none"> ●運営委員会設立 ●HP立ち上げ(周知は市のHPにリンク) ↓ ・「日進ネットへようこそ」(イメージ) ●テーマの募集 ●参加メンバー募集 ●場所の提供(場所の固定化・持続性: ネット上交流ではない) ↓ そこにいけば提供されている(ラジオ体操⇒常設: 場所、時間) <div style="text-align: right;">  </div>
6 実施体制 だれが? だれと? 協働相手や役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ●運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な人(リタイア世代、有識者、高校生、大学生も含めて) ・市民 ・行政
7 はじめの一步で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●コアメンバー募集 <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子育て ・国際交流 } トライアル
チームメンバーの名前・ニックネーム	くろちゃん、ヒサくん、ヒロちゃん、きくちゃん、よっちゃん、ジョージ、しばさん

2. はじめのPRポスター・チラシ

プロジェクト名	スクランブル交流運営委員会
---------	---------------



<p>いいね! の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぜひ、やってほしいと思いました。(窪田) ●世代やジェンダー等をこえて、多様な人の場は大切だと思います。(幸村朋子) ●つながりのある町にするため。実現できそう。(まいこさん) ●女性活用、同感。(まろん) ●世代を超えたスクランブル交流の考え方に賛同。(田中八ちゃん) ●世代を超えてHPいいね!(ひろこ) ●市内のつながりが強化されることで、活性化や治安の強化につながると思われるため。 (ひーくん) ●コアな方々の中に入ってお話を聞くのも有りでしょうか?(エリ) ●つながりが薄くなる世の中で、あらためて「つながり」をアピールする機会があるのがいい。(ひぐちゃん) ●大学生を巻き込んで、つながりあるまちに。(鈴木康子) ●コアメンバーを集めて、やらされ感なく活動出来そう。能動的に動けそう。(はるぞう) ●つながり大事。(いとちゃん) ●スクランブル⇒「世代問わず」が伝わる。(かんべ) ●独りぼっちが少しでも減るといいですね。(よしすけママ) ●世代を超えて交流できることが繋がり面で良いと思いました。(わかな)
---------------------	--

わくわくミライ会議まとめ【チーム5】

1. わくわくまちづくり活動提案企画シート

1 テーマ テーマ1~5のうちどれかに該当するかを記入	テーマ： 女性活躍
2 もとになったイデオシ提案のタイトル	
3 プロジェクト名 内容が伝わり共感を得やすい名称	糸プロジェクト～赤いバンダナ（仮）運動～
4 目的・ねらい 何のためにやるのか？ 解決したい課題や10年後までに得たい成果は？	<ul style="list-style-type: none"> ●リタイアウーマンに活躍の場を ●ボランティアの意思表示 ●困っている人多い⇒話しかけづらい ●仲間意識高めるつながり作り ●おせっかい
5 取り組み内容 いつ？ どこで？ なにを？ どのように？ ※箇条書きで簡潔に	<ul style="list-style-type: none"> ●赤いバンダナ配る（おしゃれにする） ●ほっとカフェで売る ●500円（+市補助）←信頼のため ●シルバーセンター発注 ●市民団体に発注
6 実施体制 だれが？ だれと？ 協働相手や役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ●いとちゃんGと仲間達 ●取り組みに賛同した女性 ●ほっとカフェをめぐって営業
7 はじめの一歩で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●団体をつくろう ●赤いバンダナ販売 ●「カードを配る（名刺）」、「QRコード」、「ポスター（駅、市役所）」 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">あつまれ日進</div>
チームメンバーの名前・ニックネーム	いとちゃん まりこさん すずきさん みほちゃん エリ

2. はじめのPRポスター・チラシ

プロジェクト名	糸プロジェクト～赤いバンダナ（仮）運動～
---------	----------------------



いいね！ の理由	<ul style="list-style-type: none"> ●赤いバンダナをつけることで、公式な活動という認識から、勇気がわく。(ひぐちゃん) ●意志を示して、おせっかい出来るところが良い。(かんべ) ●赤いバンダナのアイデアがステキでした。(くろちゃん) ●おせっかいが良い。楽しそう。(神原光博) ●バンダナを購入することで、ボランティアの輪が広がるし、雇用もひろがり一石二鳥。 (はるぞう) ●赤いバンダナが実行可能。(鈴木康子) ●赤いバンダナ運動の発想が素晴らしい。(田中八チャン) ●ちょっと、おせっかいしませんか！ 皆、その気持ちになれば、皆、ハッピーに。 (山口和子) ●少し、おせっかいはこわいけど、助かるかも。(久井) ●赤いバンダナを持っている人を見たら、困っているとき声をかけやすい。(ヒロ) ●何をしてもよいかわからない方々のやりがいを生み出すことができるほか、助けてほしい方々が声をかけやすい仕組みであると思ったため。(ひーくん) ●赤いバンダナを付けて助ける事が分かるようにするアイデアがよかった。(うっちー) ●ぱっと見てわくわくしたり、やってみようかなと思える内容のポスターだったからです。 (わかな) ●赤いバンダナ運動プロジェクトが良い。(春) ●見える化がGood！(まろん) ●赤いバンダナ、実現できそう。(まりこさん) ●おせっかいおばちゃん大事。(市川) ●実現可能性が高く、キャッチーな内容だった。(窪田) ●あたたかいたすけあい。(ジョージ) ●おせっかいしたくてもしにくい時もあるので、目印をつけられるといい。(幸村朋子) ●赤いバンダナ運動って、考えつかなかった。(よしすけママ)
-------------	---